

ウクライナ情勢に関するメッセージ

ロシアによるウクライナ侵攻に、私たちは大きな憤りと深い哀しみを覚えています。即時停戦と平和的解決を強く求めます。

京都教育大学は140年以上にわたって教員を養成してきた大学です。教員の使命は子どもの成長を見守り、子どもたちの幸福に資することです。子どもが幸せな世界がどんな人にとっても望ましい場所であることを、いったい誰が否定できるでしょうか。

戦争は子どもに大きな苦しみをもたらします。戦争の犠牲になるのはいつの時代も弱者です。何千人もの民間人がウクライナで命を落とし、しかもそこに罪のない子どもたちが含まれていることは、断固あってはならないことです。学校や小児病院が砲撃を受けたことも報じられています。そして、ウクライナ人であれロシア人であれ、本学の学生と同じ世代の兵士の生命が、望まぬ戦争のなかで喪われています。

戦争は遠いところで起きているではありません。京都とウクライナの首都キーウは豊かな文化遺産をもつ古都であり、50年にわたり姉妹都市として交流を深めてきました。本学もウクライナから留学生を受け入れてきました。ウクライナの学生が二人、昨年からは本学のオンライン授業を受け、来日して学ぶことを楽しみにしていました。二人はまだ戦禍のウクライナに留まっています。安否が気遣われます。

京都教育大学で学んだウクライナのみなさん、学ぼうと考えているみなさん、私たちはあなたがたが混乱と危険のなかに取り残されていることをつねに忘れません。私たちはいつもあなたがたとともにあります。どうか希望を失わないでください。

多くの無辜の人々の命がウクライナで脅かされていることは、決して赦されることはありません。一刻も早くウクライナの戦禍が終熄し、平和が取り戻されることを、私たちは国際社会に向け強く訴えます。

2022年3月14日

京都教育大学学長

太田 耕人